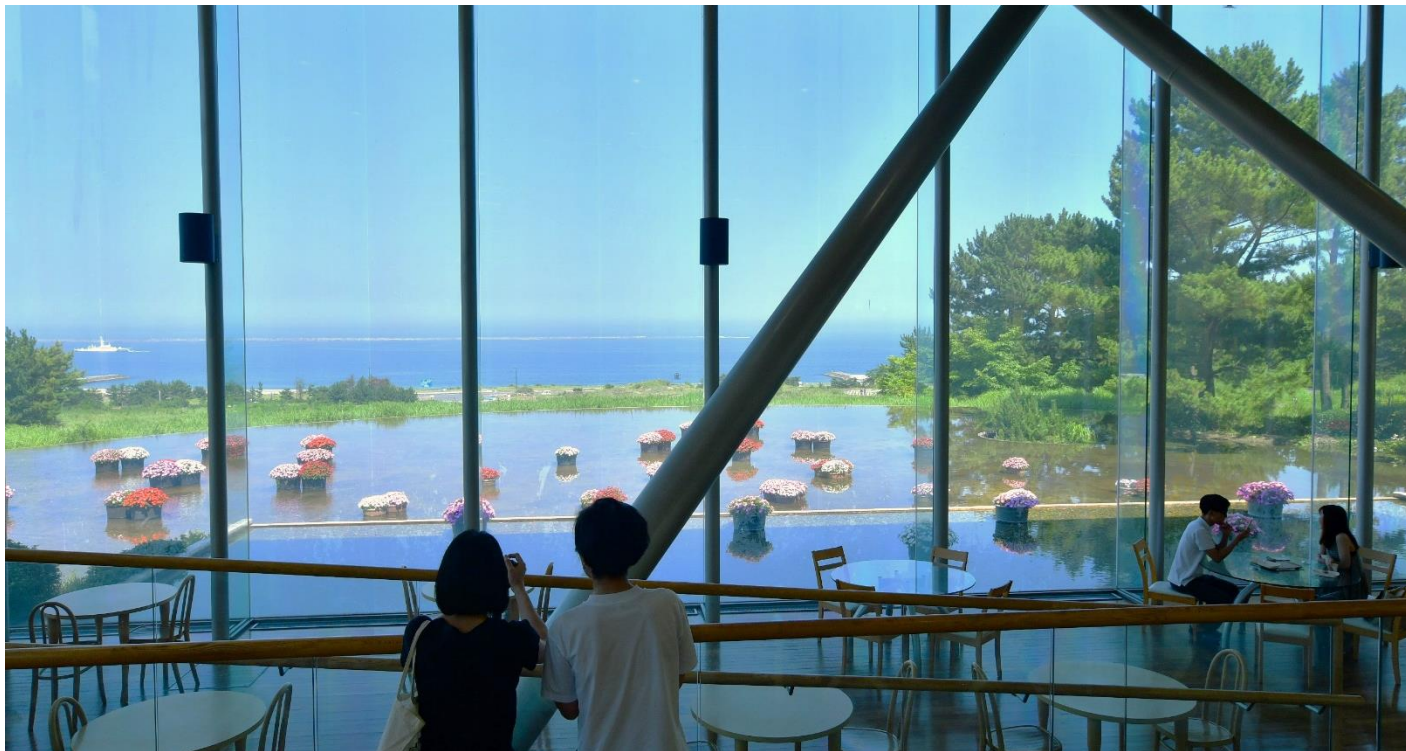


～夏を彩るトロピカルな花々～ サンパチェンス・タイタンビカス 開花中

国営ひたち海浜公園の砂丘エリアにあるガラスハウスでは、サンパチェンスが鮮やかな花を咲かせています。花を設置しているガラス窓の外には水盤が広がり、まるで海へと続くような非日常の景色をご覧になれます。また、海浜口・風のゲート前ではタイタンビカスが咲いています。ハイビスカスに似た花姿から、南国情緒溢れる夏の風景をお楽しみいただけます。



ガラスハウスから望むサンパチェンス (撮影：2024年7月22日)

◆水盤に浮かぶ“サンパチェンス”

サンパチェンスは、ツリフネソウ科インパチェンス属で、高さは鉢植えで約60cm、赤やピンク、オレンジなど5～6cmの色鮮やかな花を、1つの株に次々と咲かせます。品種名はサン(Sun:太陽)とペイシエンス(Patience:忍耐)に由来しており、真夏の暑さや強い日差しにも耐えて成長することから、開花期間が長いことも魅力のひとつです。

【サンパチェンス】

■花期:7月中旬～10月上旬 ■品種数:1品種(6色) ■株数:160株 ■場所:ガラスハウス

◆海を望むフォトスポット

今年は昨年よりも16鉢多い、53鉢のサンパチェンスを配置しています。太陽、青空そして海と水盤に映る花々は、盛夏の訪れを感じさせてくれるとともに、日常では味わえない空間を演出しています。屋外には、サンパチェンスを間近で観察したり、近くで撮影できるスポットも準備しています。



フォトスポット
(2024年7月22日撮影)

◆海風に揺れる“タイタンビカス”

タイタンビカスはアオイ科ヒビスク属の多年草で、アメリカフヨウとモミジバアオイの交配選抜種です。高さは1.2～1.8mほど、大きいものでは3mに及ぶこともあります。花の大きさは直径15～25cmほどあり、その大きさは子どもの顔が隠れるほどの大きさです。この圧倒的な存在感と花姿からギリシャ・ローマ神話に登場する巨大な神々「タイタン」に因みタイタンビカスと名付けられました。

【タイタンビカス】

■花期:7月下旬～8月下旬 ■品種数:1品種(2色) ■株数:650本 ■場所:海浜口・風のゲート前/BMXコース周辺



タイタンビカス
(2024年7月22日撮影)

Information

みはらしの里では“ジニア”が咲き始めました。



公園公式SNSもご覧ください お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 服部・渡邊・マウリダ
TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339
〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

<https://hitachikaihin.jp>